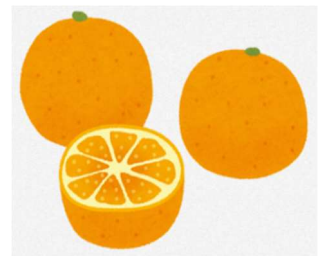




明けまして
おめでとうございませう



ミカンのはなし



昨年中は地域みなさんに

大変お世話になり

ありがとうございました。

今年も微力ながら、皆様のお役に立てる様

頑張りますので宜しくお願いいたします。

冬の果物と言えば、みかんを思い浮かべる方が多いかと思われます。皮をむくのが容易で、食物繊維が豊富に含まれていたり、ビタミン C が豊富に含まれたり、体に嬉しい果物です。昨年は、日照時間も長かったため全体的に大きいみかんが主流となっています。仕入れてくるときは、産地や生産者を指定して、甘くて美味しい間違いのないみかんを買ってくるようにしていますが、スーパーなどで買う時に、おいしいみかんを見分ける方法を紹介しようと思います。

① 皮のきめが細かいみかん

みかんの皮にある凹凸が多くきめの細かいみかんは、枝の先の方に実ることが多いそうです。先の方に実ったみかんは、糖分が多く蓄えられ、甘くなるそうです。

② 色が濃いみかん

色が濃いみかんは、日光を浴び、昼夜の寒暖差により糖分が生成されます。また色が濃いみかんは野生動物に発見されやすいため、種子を遠くに広げるのに役立ちます。

③ 重みのあるみかん

重いみかんは、果汁がしっかりと含まれています。同じ大きさのみかんでも糖度が高いみかんは、重くなります。

④ 軸が細いみかん

一見軸が太いと養分を多く取り込めるので、美味しいみかんになるような気がしますが、軸が太い分水分を多く取り込み、ぼやっとした味のみかんになります。軸が細いほうが吸収する水分が少なくなり、味が濃くなるようです。小さいみかんが美味しく感じるのはこのためです。

箱買いしたみかんは、ヘタを下にして風通りの良い涼しいところで保存してください

未来は手の中

みなさんが子供のころに、思い描いた世の中に、今現在の自分、生活、環境は近づいていますか？

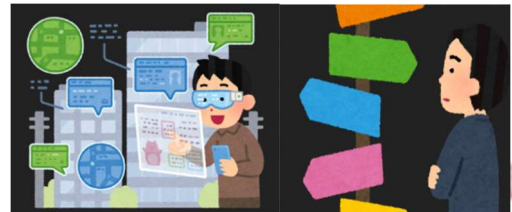
高度成長期で、私たちの生活は大きく変化しました。所得の増加、電化製品の普及、食生活の欧米化、自動車の普及などなど。

1970年の大阪万博で描かれた未来の世界で、実現できなかったものは自動人間洗い機で、それ以外は、全部実現出来たそうです。

人口減少、高齢化、過疎化・・・こんな未来を思い描いていたはずではないのに、現実はどうでしょうか？なんだか先行きの不安になるような言葉ばかりですが、ちょっとした気づきや行動で、何もなさそうな田舎も、楽しい場所になるように思います。誰かが何かしてくれるのを待つのではなく、自分でも1歩踏み出してみると、見える景色が変わるかもしれません。踏み出したことが失敗に終わることもあるかもしれませんが、何もせず受け入れるよりは、はるかに意味があることに思えます。今年は、新しいことを何か始めてみませんか？小さな動きをあちこちで起こして、大きな渦になりますように。



人生時計



自分の実年齢を3で割ると、人生を24時間に換算した『人生時計』の時間になります。人生時計は、自分の人生を24時間の時間で表し、人生のどの時間帯にいるのかを考察でき、自分を見直すきっかけになり、気づきのきっかけになるという話を聞き、実際に私自身に当てはめてみると…

$53 \div 3 = 17.666\dots$ となり、私は今夕方の五時過ぎ。仕事も終わり、これから自分が楽しめることを考える。といった感じでしょうか。

自分の家族や子供にも当てはめてみると、みなさんも自分の人生の立ち位置に、納得することでしょう。この人生時計、72歳で24時間=1日になります。「もう年だ」「若くない」と思うのではなく、これから先は、人より長く楽しめている、ワクワクするなど考える方が、前向きでいいように思います。と同時に、世の中には様々な人生時間を生きる人が、共存しているので、自分の時間も周りに人の時間も同じようにかかけがえのないものだ、と、尊重することが出来るかもしれません。

日本人の平均寿命で考えてみると、男性は81.09歳、女性は87.14歳。

みなさんの『人生時計』は今どのあたりを指していますか？